

○平成30年11月21日 総務委員会の第3回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

総務委員会では、今年度のテーマを「地域の情報化について」、「地方税及び税外未収金の徴収体制について」及び「地域における犯罪抑止力の強化について」と定めており、今回、3カ所の現地視察を行いました。

まず、株式会社STNet新高松データセンターPowerico（高松市林町）において、顧客データの保管の安全性を高めるための取り組みについて説明を受け、昼夜の職員配置体制やセキュリティの強い施設内で急患等が生じた場合の対応等について質疑を行った後、免震装置やセキュリティ施設等を視察しました。



次に、特殊詐欺被害防止コールセンター（高松市観光通）において、オペレーターによる特殊詐欺に関する注意喚起を目的とした県民への架電の取り組みについて説明を受け、特定の地域で特殊詐欺事案が発生した場合の対応やコールセンターの設置費等について質疑を行いました。



最後に、さぬき市税務課（さぬき市志度）において、大川広域行政組合や香川滞納整理推進機構と連携した市税の滞納整理や原課と連携した税外債権の滞納整理について説明を受けた後、職員の人件費と徴収額との費用対効果や差し押さえに際して優先される財産等について質疑を行いました。

